

第5期 決算概要資料

2009年度(2010年3月期)

あなたに、ベスト・ウェイ。



注)当資料は、億円未満を切り捨てて表示しています。

1. 2009年度の主な取り組みの概要

NEXCO

お客様の“安全・安心”を第一に、より“快適”に、より“便利”に高速道路をご利用いただけるよう業務を実施しています

- **政府の経済対策による高速道路の料金割引を円滑に実施しました。**
 - ・休日特別割引(地方部上限 1,000円)等を実施し、多くのお客様にご利用いただいた結果、料金割引額は約3,400億円となり、前期の約1,600億円から倍増しました。
 - ・GW、お盆時期、シルバーウィーク、年末年始等の混雑対策・安全対策を確実に実施しました。
- **高速道路の建設を着実に進め早期開通に努めました。**
 - ・7路線7区間84.5kmを新規開通し、営業延長は3,565kmとなりました。
 - ・常磐自動車道(山元IC～亘理IC間)、道央自動車道(落部IC～八雲IC間)については、完成予定年度を約1年前倒して開通しました。
 - ・仙台北部道路(利府しらかし台IC～富谷JCT)の開通により、仙台都市圏でネットワークが完成しました。
- **道路資産賃借料4,004億円を機構 に支払いました。**

独立行政法人
日本高速道路保有・債務返済機構
- **お客様にご満足頂けるSAPAづくりに取り組みました。**
 - ・首都圏における新しいタイプの商業施設「Pasar(パサール)」を東北自動車道羽生PA(下り線)、関越自動車道三芳PA(上り線)にオープンしました。また、地域の特産物を積極的に導入するなど「地域のショーウィンドウ化」を進めるとともに、環境に配慮したSAPAづくりに取り組みました。

2. 高速道路の料金割引を円滑に実施しました。

NEXCO

<単体ベース>

料金収入等は5,735億円を計上

◇料金収入等は、景気が依然として厳しい状況のなか、政府方針に基づく料金引下げの実施や上半期の燃料価格の下落等により、交通量(走行台キロ)が13.3%増加した一方、割引サービスを多くのお客さまにご利用いただいた結果、料金割引額は約3,400億円となり、前期の約1,600億円から倍増となったことにより、前年同期に対し1,004億円(14.9%)の減収となりました。

道路資産賃借料と管理費用計5,727億円を計上

◇管理費用は、お客さまに安全・安心・快適にご利用いただくための補修工事等の実施、政府方針に基づく料金引下げの実施に伴う混雑緩和・安全対策等を確実に実施したものとなっております。

◇道路資産賃借料は、政府方針に基づく料金引下げの実施に伴い、機構との協定額が減少したこと等により、前年に対し971億円(19.5%)減少しました。

機構:独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

(単位:億円)

	2008年度 (A)	2009年度 (B)	前期差 (B) - (A)
料金収入等	6,739	5,735	1,004
道路資産賃借料	4,975	4,004	971
管理費用	1,749	1,723	25
営業利益	14	7	6

料金収入等には、その他の売上高が含まれています。

3. 道路事業は、減収・減益となりました。

【道路事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

7,447億円〔8,055億円〕

7,517億円〔8,110億円〕

営業費用

7,439億円〔8,041億円〕

7,481億円〔8,066億円〕

営業利益

7億円〔14億円〕

35億円〔44億円〕

営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は1,711億円)を含んでいます。

〔 〕書きは昨年度の数字。

<連結ベース>の営業収益のうち、「外部顧客に対する売上高」は、7,469億円となっています。

4. SAPA事業は、お客さまの増加により増収・増益となりました。

【関連事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

366億円〔497億円〕

615億円〔660億円〕

営業費用

332億円〔461億円〕

557億円〔600億円〕

営業利益

33億円〔35億円〕

57億円〔59億円〕

【うちSAPA事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益

109億円〔100億円〕

358億円〔263億円〕

営業費用

75億円〔69億円〕

300億円〔208億円〕

営業利益

33億円〔30億円〕

57億円〔54億円〕

()書きは昨年度の数字。

関連事業には、SAPA事業のほか、国や地方公共団体からの受託事業及びその他関連事業を含んでいます。

5. 第5期の経営状況(総括)

【全事業】

<単体ベース>

<連結ベース>

営業収益	営業費用	7,813億円 〔8,552億円〕	7,772億円 〔8,502億円〕	8,084億円 〔8,730億円〕	7,990億円 〔8,627億円〕			
営業利益	道路事業	関連事業	41億円 〔49億円〕	7億円 〔14億円〕	33億円 〔35億円〕	94億円 〔103億円〕	35億円 〔44億円〕	57億円 〔59億円〕
経常利益		49億円〔60億円〕		124億円〔133億円〕				
当期純利益		22億円〔26億円〕		72億円〔76億円〕				

連結ベースの営業収益及び営業費用並びに営業利益は、P3、P4の各部門の数字を合計したもののから、セグメント間の取引を消去したものですので、単純な合計額とは一致しません。

営業収益には道路資産完成高、営業費用には道路資産完成原価(ともに当期は1,711億円)を含んでいます。

()書きは、昨年度の数字。

6. 資産・負債の構造

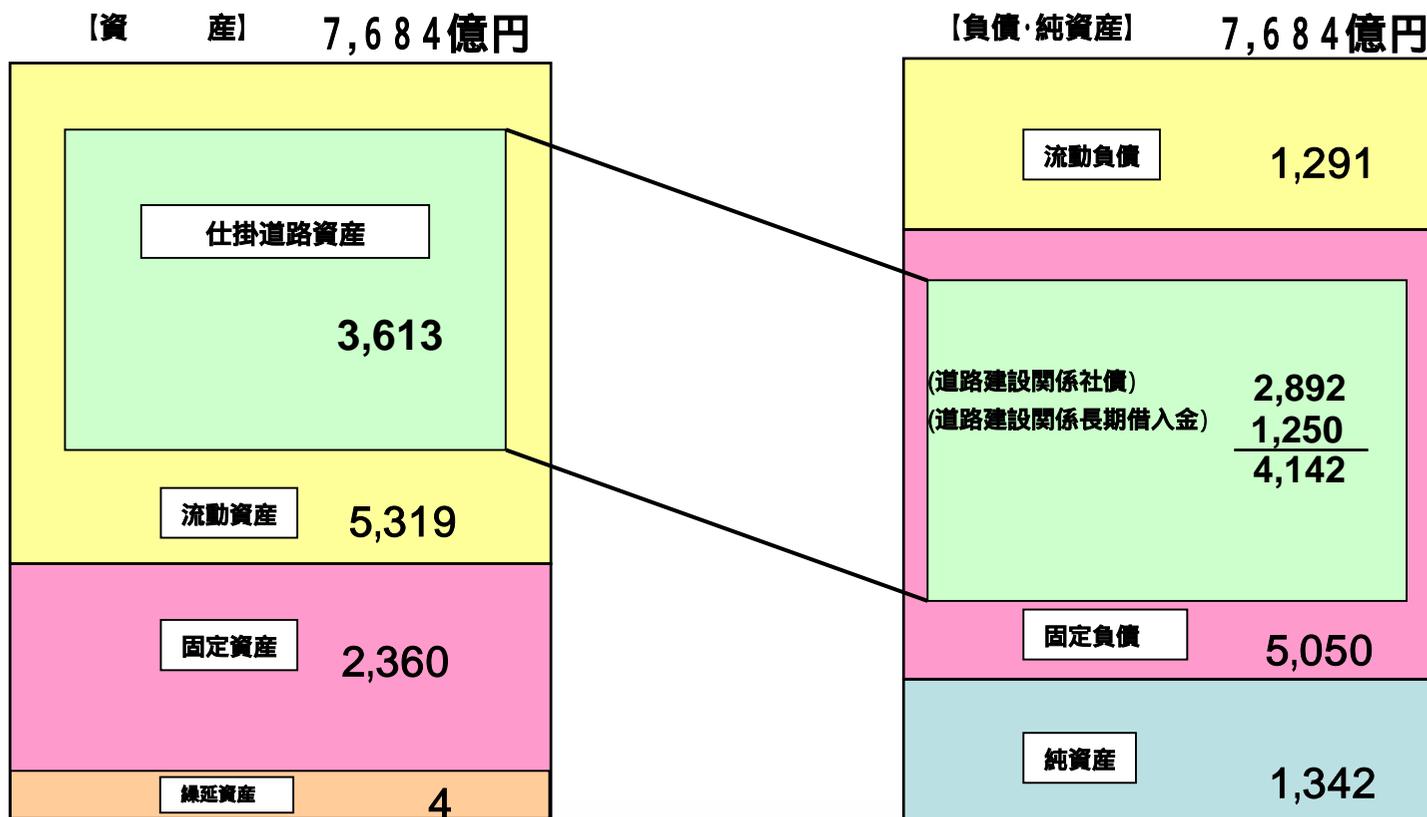
<単体ベース>

▶ 道路建設のための固定負債が、仕掛道路資産(建設中の道路)に対応しています。

▶ 仕掛道路資産は、前期末より144億円増加しています。

▶ 当期に完成した道路資産1,711億円を機構へ引渡しています。

独立行政法人
日本高速道路保有・債務返済機構



7. 連結対象の子会社・関連会社について

NEXCO東日本グループ一体となってコラボ(協働)体制を構築し、グループ企業価値の最大化を目指します。

■連結子会社

18社

【連結子会社】

- ◇(株)ネクスコ・トール東北
- ◇(株)ネクスコ・トール関東
- ◇(株)ネクスコ・トール北関東
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング北海道
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- ◇(株)ネクスコ東日本エンジニアリング
- ◇(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス北海道
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス東北
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス関東
- ◇(株)ネクスコ・メンテナンス新潟
- ◇(株)ネクスコ東日本パトロール
- ◇(株)E-NEXCOパトロール
- ◇(株)ネクスコ・サポート北海道
- ◇(株)ネクスコ東日本トラスティ
- ◇ネクセリア東日本(株)
- ◇(株)ネクスコ東日本エリアサポート
- ◇(株)ネクスコ東日本リテイル

■持分法適用関連会社

7社

【持分法適用関連会社】

- ◇(株)NEXCOシステムズ
- ◇(株)高速道路総合技術研究所
- ◇東京湾横断道路(株)
- ◇東北高速道路ターミナル(株)
- ◇(株)NEXCO保険サービス
- ◇ハイウェイ・トール・システム(株)
- ◇奥羽道路サービス(株)

*ネクスコ・トール とは、料金収受業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・エンジニアリング とは、保全点検業務を担う会社の名称。

*ネクスコ・メンテナンス とは、維持修繕業務を担う会社の名称。

料金割引に伴う交通混雑対策について、確実に実施

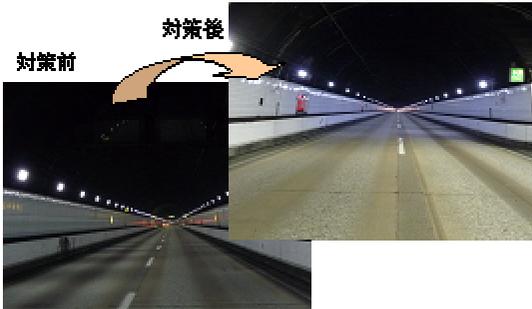
速度回復情報の提供による呼びかけ



渋滞後尾への追突注意喚起



トンネル照明の照度アップによる速度低下の抑制



駐車場整理員の配置



仮設トイレの配置



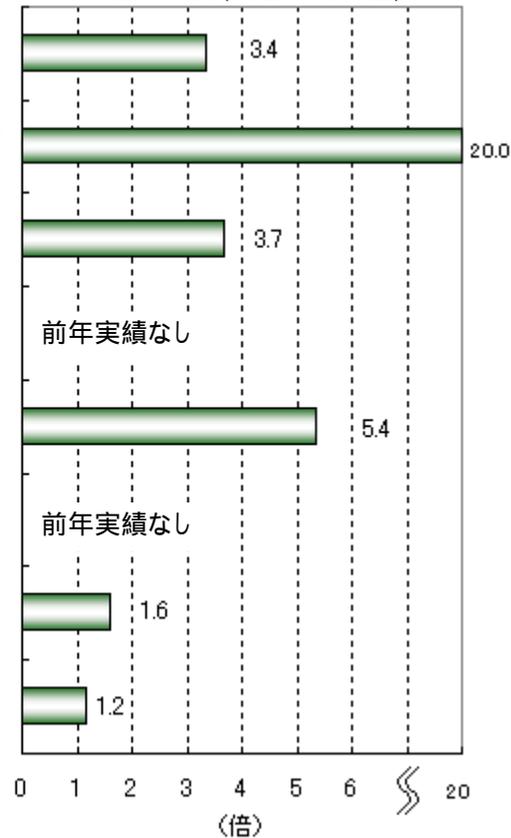
大型優先駐車マスの確保



H21年末年始の交通混雑対策

- 速度回復情報の提供により渋滞緩和の呼びかけ
- トンネル照明の照度アップによる速度低下の抑制
- 渋滞後尾での標識車等による後尾警戒
- 交通管理隊の増員
- 駐車場整理員の配置
- 仮設トイレの設置
- 清掃作業員の配置
- 料金所サービススタッフの増員

各混雑対策(対前年同期比)



「安全・安心・快適」な高速道路空間の提供

【交通安全対策】

高機能舗装の施工



強化型防護柵(中央分離帯)



【耐震補強対策】

橋梁の耐震補強工事



【橋梁の補修工事】

コンクリート剥落対策工事



<参考> トピックス〔2009年度の主な取り組み 高速道路建設〕



高速道路の新規開通

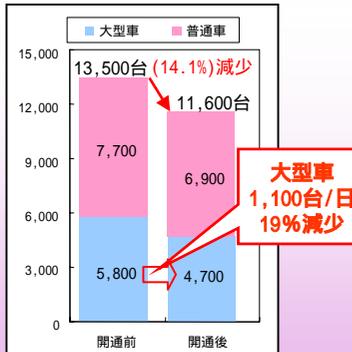
- 7路線7区間 84.5kmが開通
- そのうち新規開通2区間について、当初計画の平成22年度を前倒して完成することができました。
- 常磐自動車道（山元IC～亶理IC間）11.5km 12ヶ月前倒し
- 道央自動車道（落部IC～八雲IC間）16.0km 13ヶ月前倒し

【仙台北部道路（利府しらかし台IC～富谷JCT間）の開通に伴う整備効果】

- 仙台都市圏において全周約60kmの都市圏環状ネットワーク（都市圏の外郭全体を連絡する自動車専用道路網）が、全国の政令指定都市圏で初めて全線開通しました。
- 仙台近郊の産業拠点と仙台塩釜港とを直結する高速輸送ルートが完成し、アクセスが強化されました。
- 仙台都市圏を迂回する高規格道路が2ルートとなり、リダンダンシーが向上しました。
- 一般道の交通混雑が緩和され、交通環境が改善されました。



（主）塩釜吉岡線	
開通後	11,600台/日
開通前	13,500台/日
増減率	14.1%



開通前、（主）塩釜吉岡線では大型車が多く通行していましたが、開通後は、仙台北部道路に大型車が転換したため、1,100台/日（19%）交通量が減少しました。

【開通実績】

- 凡例
- 高速自動車国道
- （新規開通区間）
 - （営業中）
 - （建設中）
 - （建設中JCT）
- 一般有料道路
- （新規開通区間）
 - （営業中）
 - （建設中）
- NEXCO東日本以外の道路
- （営業中）
 - （建設中）



SAPAのお客様サービスの向上

Pasar(パサール)の展開

SAPAを「あるから利用する施設」から「進んで利用したくなる施設」へ転換していくため、「Pasar(パサール)」というブランドで「高速道路型の商業施設」を展開

東北道 Pasar羽生(下り線)
2009年11月18日OPEN

関越道 Pasar三芳(上り線)
2009年12月16日OPEN



『地域のショーウィンドウ化』

地域商材を積極的に導入するとともに、ご当地メニューや地域のお土産品をお得にご利用頂ける「地域産品応援フェア」を開催



ドラマチックエリアの展開

それぞれの地域にふさわしい「旅のドラマ」を演出する「ドラマチックエリア」を展開

関越道 赤城高原SA(下り線)



8. 2010年度損益の見通しについて

NEXCO

◇ 2010年度は単体で14億円、連結で36億円の利益を見込んでいます。

(単位:億円)

		単体ベース	連結ベース
【高速道路事業】	営業収益	7,293	7,293
	営業利益	17	17
【関連事業】	営業収益	468	740
	営業利益	30	54
【全事業】	営業収益	7,761	8,033
	営業利益	48	72
	経常利益	28	70
	当期純利益	14	36

2010年度の見込みは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要素により、上記の見込値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

<参考> 2010年度の主な取組み

高速道路建設

新規開通予定 (3区間12.9km)

- ・2010年4月17日 北関東自動車道 佐野田沼IC～岩舟JCT(L=5.3km) 開通済み
- ・2010年4月24日 圏央道 つくば中央IC～つくばJCT(L=4.3km) 開通済み
- ・2010年度内 圏央道 菖蒲白岡IC(仮称)～久喜白岡JCT(仮称)(L=3.3km)

完成予定(8箇所)

- ・2010年10月 仙台北部道路 利府JCT [改築]
- ・2010年内 東北自動車道 上河内スマートIC [改築] 東北自動車道 那須高原スマートIC [改築]
- ・2010年度内 東北自動車道 大衡IC 秋田自動車道 西仙北スマートIC(仮称) [改築]
- 上信越自動車道 佐久小諸JCT 常磐自動車道 石岡・小美玉スマートIC(仮称)
- 東北自動車道 佐野SAスマートIC(仮称)

改築とは、既に供用しているIC・JCTに新たな出入口やランプを追加するなど、機能向上を図るものです。

SAPA事業

関越道 Pasar三芳(上り線) グランドオープン

2009年12月に 期工事がオープンした関越道三芳PA(上り線)で、既存施設の建替えを行い平成22年度内にグランドオープンを目指します。(ショッピングコーナーの拡張やコンビニエンスストアを導入予定。)



関越道 寄居PA(上り線) 『寄居 星の王子さまPA』

6/30オープン

関越道寄居PA(上り線)では、『星の王子さま』のブランドが持つ「非日常性」や「癒し」をコンセプトに、南フランスプロバンスの雰囲気、日常から離れた「癒し」の空間をPA全体で創造します。



【寄居 星の王子さまPA】関越道 寄居PA [イメージ]

個別貸借対照表、損益計算書(要約版)



[資料 - 1]

【貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,613	未払金	831
その他の流動資産	1,705	その他の流動負債	459
(流動資産計)	5,319	(流動負債計)	1,291
有形固定資産	2,103	道路建設関係社債	2,892
無形固定資産	85	道路建設関係長期借入金	1,250
投資その他の資産	172	その他の固定負債	908
(固定資産計)	2,360	(固定負債計)	5,050
(繰延資産計)	4	(負債合計)	6,342
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	229
		(純資産合計)	1,342
(資産合計)	7,684	(負債・純資産合計)	7,684

【損益計算書】

(単位 億円・切捨)

区分	金額
高速道路営業収益	7,447
料金収入等	5,735
道路資産完成高	1,711
高速道路営業費用	7,439
道路資産賃借料	4,004
管理費用	1,723
道路資産完成原価	1,711
高速道路事業営業利益	7
関連事業収益	366
関連事業費用	332
関連事業営業利益	33
(営業利益)	41
営業外収益	16
営業外費用	7
(経常利益)	49
特別利益	10
特別損失	4
(税引前当期純利益)	56
法人税等(法人税等調整額を含む)	33
(当期純利益)	22

連結貸借対照表、損益計算書(要約版)



[資料 - 2]

【連結貸借対照表】

(単位 億円・切捨)

区分	金額	区分	金額
仕掛道路資産	3,606	未払金	798
その他の流動資産	1,771	その他の流動負債	355
(流動資産計)	5,378	(流動負債計)	1,154
有形固定資産	2,161	道路建設関係社債	2,892
無形固定資産	92	道路建設関係長期借入金	1,250
投資その他の資産	245	その他の固定負債	1,069
(固定資産計)	2,499	(固定負債計)	5,211
(繰延資産計)	5	(負債合計)	6,365
		資本金	525
		資本剰余金	587
		利益剰余金	403
		評価・換算差額等	-0
		(純資産合計)	1,516
(資産合計)	7,882	(負債・純資産合計)	7,882

【連結損益計算書】

(単位 億円・切捨)

区分	金額
高速道路事業	
営業収益	7,517
営業利益	35
関連事業	
営業収益	615
営業利益	57
消去又は全社	
営業収益	-48
営業利益	1
全事業	
営業収益	8,084
営業利益	94
営業外収益	37
営業外費用	7
(経常利益)	124
特別利益	11
特別損失	5
(税金等調整前当期純利益)	129
法人税等(法人税等調整額を含む)	57
(当期純利益)	72